

# 『ナラ枯れ』被害に**注意**！

香川県内で「カシノナガキクイムシ」による「ナラ枯れ」被害が拡大しています。

「ナラ枯れ」は、体長5ミリ程度の害虫「カシノナガキクイムシ」が運ぶ病原菌（ナラ菌）により、ナラ類、シイ・カシ類の樹木を枯らす伝染病です。枯死被害が多い樹種はクヌギやコナラなどで、「カシノナガキクイムシ」の繁殖に適した大径木ほど被害の発生が多く見られます。（人体や他の動物、ナラ類、シイ・カシ類以外の植物への影響はありません。）

被害木の中にいる「カシノナガキクイムシ」の幼虫は、翌年の6月頃から羽化・脱出して周辺の健全な樹木に飛んで行き、被害を拡大させます。

被害の拡大を抑えるためには、**被害を早期発見し、被害木の駆除などの対策を早期に実施することが重要**となりますので、「ナラ枯れ」被害が疑われる被害木を発見した場合は、最寄りの市町林業担当課または県林業事務所等にご連絡ください。

小豆島町での被害状況（令和元年8月撮影）



カシノナガキクイムシ



被害木の表面には「カシノナガキクイムシ」が穿孔した穴（直径2mm程度）が多数ある。



被害木の根元にはフラスと呼ばれる木くずが大量に積もっている。

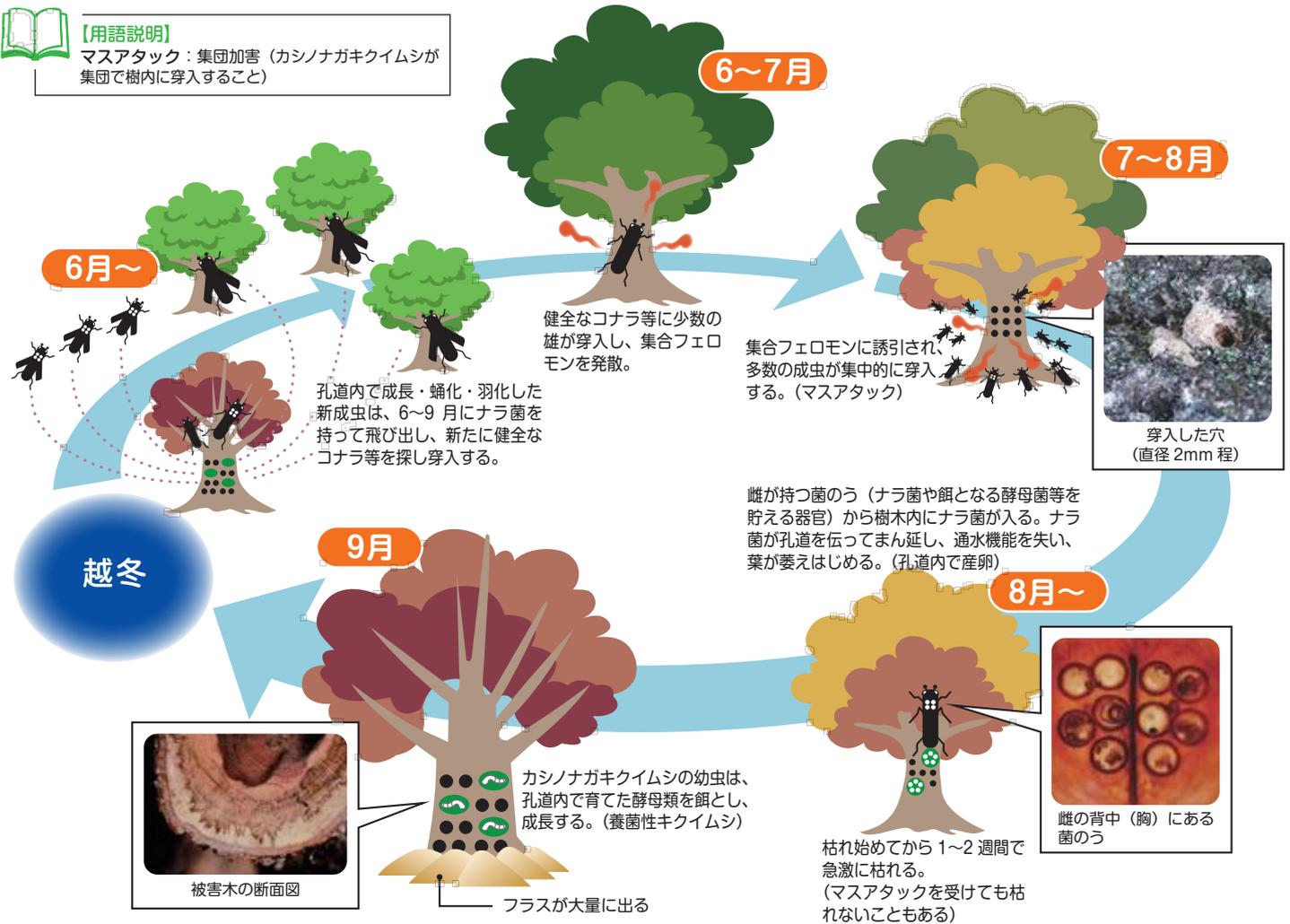


# カシノナガキクイムシの生活環



## 【用語説明】

マスアタック：集団加害（カシノナガキクイムシが集団で樹内に穿入すること）



出典：ナラ枯れ被害対策マニュアル改訂版（一般社団法人日本森林技術協会）平成27年3月版

「カシノナガキクイムシ」の活動時期は6月から9月（ピークは7月から8月）で、8月頃に葉が紅葉している、木の表面に多数の穴（2ミリ程度）がある、根元にフラスと呼ばれる木くずが積もっているなどのナラ類（クヌギやコナラなど）、シイ・カシ類（ウバメガシやアラカシなど）は「ナラ枯れ」被害が疑われます。

県では、「ナラ枯れ」の被害が確認された場合には、市町と連携して、被害の拡大を抑えるため被害木の駆除等の対策に取り組みますので、早期発見にご協力をお願いします。



連絡先・問合せ先（香川県）



機関名	所在地及び電話番号
環境森林部みどり整備課	〒760-8570 高松市番町四丁目1番10号 TEL 087(832)3458
森林センター	〒769-0317 仲多度郡まんのう町新目823番地 TEL 0877(77)2515
小豆総合事務所環境森林課	〒761-4121 小豆郡土庄町湊崎甲2079-5 TEL 0879(62)5650
東部林業事務所	〒761-0446 高松市東植田町1210-3 TEL 087(849)0444
西部林業事務所	〒766-0021 仲多度郡まんのう町四條1192番地1 TEL 0877(73)2347